

## 記念講演会 「できなくなる」ということ

講師 鷲田清一(大阪大学副学長/臨床哲学)

日時 11月25日(土) 13:00~14:30

場所 横浜美術館レクチャーホール

\*聴講無料

## 哲学カフェ

哲学カフェでは、一つのテーマについての対話を、参加者みんなで楽しみます。「正解」はありません。作品を見た経験について、または、作品に関わるテーマについて、自分たちのことばで、ゆっくりと問いかけ、考えてみましょう。

(発言の有無、途中参加・退会は自由です。)

◎11月23日(木・祝) 15:00~17:00

「じっと見る理由」進行: 西川勝 (CSCD)

◎12月2日(土) 15:00~17:00

「ディスプレイと連結する身体」進行: 本間直樹 (CSCD)

◎12月3日(日) 15:00~17:00

「じっと見る理由」進行: 西川勝 (CSCD)

場所 横浜美術館 アートギャラリー1、カフェ小倉山

\*参加費無料

**企画:** 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター  
(志賀玲子、西川勝、久保田テツ)

**主催:** 横浜美術館(横浜市芸術文化振興財団)

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

**協力:** NEC

Café Philo (www.cafephilo.jp)

## 問合せ先

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

Center for the Study of Communication-Design (CSCD)

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1

Tel. 06-6816-9494

Fax. 06-6875-9800

http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/

Designed by SHIMIZU Ryosuke (CSCD)

## Masaaki Koutani Exhibition 甲谷匡賛作品展

# A-LSD!

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の  
病床におけるHIGHな出来事

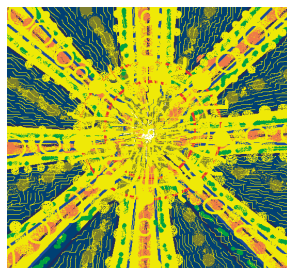
この展覧会では、甲谷匡賛(こうたに・まさあき)が、ALS(筋萎縮性側索硬化症)の病床から発信する絵画作品約30点をご紹介します。

ALSは、運動神経が冒され、筋肉が萎縮していく、進行性の神経難病です。現在、その原因も治療もわかっていません。病気の進行にしたがい、手足をはじめ身体の自由がきかなくなり、次第に会話、食事、呼吸、まばたきさえも困難になっていきますが、感覚、自律神経、頭脳は何ら冒されることがありません。進行には個人差がありますが、発病して3~5年で寝たきりになり、人工呼吸器を装着しなければ、呼吸することができなくなると言われています。

甲谷匡賛は、1958年岐阜県に生まれ、中央美術学園(中退)で学ぶと同時に、10代後半から東洋思想や様々な身体技法に興味をもち、ヨガ、整体、指圧、新体道などを学びました。1995年、京都に手技治療院「天療術院」を開設し、その施術の技だけでなく、身体観や思想性に惹かれ、山田せつ子、岩下徹をはじめとする数多くのダンサー達も訪れるようになりました。2002年に発病、2004年末から京都市内の病院に入院中で、現在の病状は会話不可、四肢・体幹機能はほぼ全廃の状態にあります。絵画制作は、特殊なソフトを搭載したパソコンを使い、わずかに数センチ動かせる左手の甲でスイッチをたたくことで、ひとつひとつ、作業の指示を選択しながら、長い時間をかけて、忍耐強く、深い集中のうちに生み出されていきます。

発病前、甲谷匡賛は、身体を使い、身体に触れ、つねに、身体をとおして思索を深めてきました。そして今、まるで最高位の修行のような「ALSな日々(公開日記のタイトル <http://www.geocities.jp/koujyo2005/>)」の中で、「今の身体に対する気づきは、発病前の数十倍に匹敵する」と語っています。「身体に対する気づき」とは、すなわち、「生への気づき」であり、「私は誰?」「私達は何?」という問いへの探求に他なりません。

このような日々の中から生み出される作品は、いずれも鮮やかな色彩と生命の躍動感に満ち、と同時に、その向こう側には底のない虚空が広がるかのようです。厳然たる苦の体験の中にあって、その源であるALSを、服用すると時に至福の体験をするという幻覚剤LSDの新種「A-LSD」になぞらえ、「老いや病や死について語ると、ついつい話は深刻になりがちだが、それらは生まれてきた以上避けられないことだから、深刻になるのは間違っていると思う。深刻と真剣は違う。真剣さにはユーモアがある。」と語る、甲谷匡賛の世界をどうぞご覧下さい。



バルドにて「光明」



HOTEL ALS



飛べない不具の天使(地上に立つ、両腕の無い天使)

## 交通案内

〔電車〕 〇 みなとみらい線(東急東横線直通)をご利用の場合: みなとみらい駅下車、「美術館口」を出て徒歩3分。

〇 JR、横浜市営地下鉄をご利用の場合: 桜木町駅下車、「動く歩道」を利用、徒歩10分。

〔車〕 〇 桜木町駅前から日本丸方向へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通過して美術館へ。いずれも3~5分。(首都高速「みなとみらいランプ」も利用できます)。

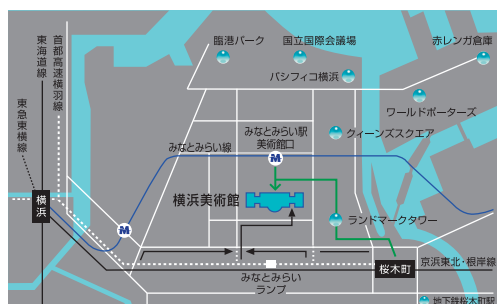
## 会場・問合せ先

横浜美術館 アートギャラリー1

220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0300 Fax. 045-221-0317

http://www.art-museum.city.yokohama.jp



CSCD

横浜美術館